

1 学 期 終 業 式 「 式 辞 」

学年を代表して意見発表をしてくれた3人の生徒のみなさん、ありがとうございました。ドイツでの経験、城中スタンダードへの取組、キャプテンや級長としての苦勞と経験、そして、3学期に向けて3大行事を頑張りたいと、まさに「心を燃やし」「命を燃やし」生き生きと成長してきた内容でした。みなさんも気の引き締まる思いだったのではないのでしょうか。

さて、今日は、私の経験から「命は大切」「自分の命は自分だけのものではない」と言われるのはなぜか。是非、お話ししたいと思います。

これは、「相田みつを」さんの詩集からの一説です。「人間だもの」や「しあわせはいつも自分のところが決める」という有名なことば、聞いたことありませんか？今日は、その中の「自分の番 いのちのバトン」を紹介します。

さて、私は、これを見た時（実はこの詩集を見る前に、ある方のお通夜で、お坊さんからのお説教で聞いた）とき、「はっ」と気づかされ、そして、「その通り！」「感謝して大切に自分の命を燃やそう！」「大切に生きなくては！」と思ったのです。もう少し詳しく見ていきましょう。（パワーポイントを利用）
どうということかという・・・

あなたは、お父さんとお母さんと2人の大切な命を受け継いで、この世に存在しています。

お父さんとお母さんには、それぞれお父さんとお母さんがいます。

あなたは、4人のおじいさん、おばあさん、そして、お父さんお母さんと併せて6名の大切な命を受け継いでいることになります。

もっと遡って見ていきましょう！3代さかのぼると8人合計14人、4代さかのぼると16人合計24人、5代さかのぼると32人合計48人、6代さかのぼると64人合計96人・・・

10代さかのぼると その数は、1024人に。20代その数は、なんと、100万人にも達します。

みなさんは、100万人を超える祖先の命、もっと言えば、延べ200万人の直系の祖先の方々の命を受け継いで、今、ここに存在しています。

ここで考えてほしいのが、さらなる命の不思議です。もし、200万人の祖先、この中のたったひとりでも欠けていれば、今のあなたは、ここには存在していないという事実です。200万人のうちのひとりでも、不慮の事故や犯罪に巻き込まれたりして、命を失うようなことになっていれば、今、あなたはここには存在していないのです。あなた自身の後ろには、自分の命を大切に生き、人生を全うした、200万人を超える方々が、おられたからこそ、あなたひとりひとりが、今ここに存在しているということを、是非、伝えたいのです。

あなたの命は、あなただけのものではないことがわかったでしょうか？あなたの命は、ずっと昔から多くの人から受け継がれ、そして、未来に受け継いでいく大切な命、200万人を超える血の繋がった方々に大切にされたきた命なのです。

だからこそ、自分の命を大切に、そしてそれと同じくらい他人の命も大切にしてください。そして、この大切な命を燃やし、「自分なり」でいいので、悔いの無いように生きて欲しいのです。「幸せは自分の心が決める」でよいですから・・・

さて、日本には、古来より8月13日～16日に、祖先の霊を祀る「お盆」という風習があります。今の話を聞いたからには、自分のルーツを見つめ、そのルーツに感謝して、夏休みの「お盆」を迎えて頂きたいです。みなさんは、ご先祖様の前で、「お願い事」ばかりしていませんか？かわいい子孫のみなさんのお願いをご先祖様方は、もちろん聞いてくれるとは思いますが、まずは、こちらから、「感謝の気持ち」を伝えることを忘れないでください。

では、大切な命に向き合い、大切な命を燃やし、有意義な夏休みとしてください。もちろん、時には、せっかくですので、ゆっくり休み、鋭気を養うことも忘れずに。

それでは、2学期の始業式で、ひとまわり大きく成長した元気なみなさんとお会いできることを楽しみにしています！